

特別展「西向くサムライー鎌倉幕府と豊前国ー」の開催について

担当：歴史博物館 三谷（電話 0979-23-8615）

中津市歴史博物館では特別展「西向くサムライー鎌倉幕府と豊前国ー」を開催します。

「いざ鎌倉」という言葉がありますが、幕府に一大事があれば全国の武士たちが駆けつけたことから生まれた言葉です。東の鎌倉が武士の都として日本の中心であった時代、西へ向かった武士たちがいました。

令和4年のNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」放映前に、西側の視点で鎌倉時代を知っていただきたく、本展を開催することとしました。

「西向くサムライー鎌倉幕府と豊前国ー」では、鎌倉時代の豊前国にスポットをあて、特に東国から鎮西（九州）にやってきた武士たちの動向を、古文書・彫刻・絵画・考古資料などさまざまな文化財の展示をとおして紹介します。また、教科書などでもおなじみの「伝源頼朝像」や「蒙古襲来絵詞」の模写本も展示します。

展覧会情報

会 期：令和3年9月18日（土）

～11月7日（日）

会 場：中津市歴史博物館

開館時間：午前9時～午後5時

（入館は午後4時30分まで）

休 館 日：月曜日（祝日の場合はその翌日）

観 覧 料：一般 300 円、

団体 100 円（20 人以上）、

中学生以下無料

主 催：中津市歴史博物館

後 援：慶應義塾



見どころと主な展示品

鎌倉幕府の成立と御家人宇都宮氏

源頼朝の肖像や書状などを象徴的に展示し、鎌倉幕府の御家人である宇都宮氏が、鎮西（九州）の豊前へ向かう様子を古文書などから紐解きます。

「伝源頼朝像 模本」京都市立芸術大学芸術資料館所蔵

「佐田文書」個人所蔵・東京大学史料編纂所寄託



俊祐と信房

宇都宮信房は渡宋僧である俊祐律師に帰依し、洛中の泉涌寺の地を寄進しました。俊祐と信房の関係を泉涌寺に伝来した文化財からみていきます。ゆかりの仏像として快慶作の阿弥陀如来像を展示します。

「木造俊祐律師坐像」京都府指定有形文化財・泉涌寺所蔵

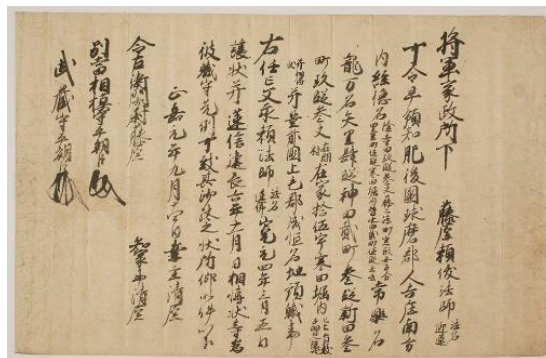
「木造宝冠阿弥陀如来坐像」快慶作・悲田院所蔵



鎮西御家人の所領・相良氏と成恒名

鎮西に土地を得た東国の武士たちは西へやってきました。肥後人吉に入った相良氏は、豊前成恒名も領地として得ていました。重要文化財「相良家文書」から、成恒名の土地経営についてみていきます。

「相良家文書」国指定重要文化財・慶應義塾所蔵



蒙古襲来の衝撃

鎌倉時代後期、モンゴル軍の襲来は日本に大きな衝撃を与えました。最新兵器で攻撃するモンゴル軍を目の当たりにした豊前の武士たちの動向、その後の恩賞訴訟などから、鎌倉幕府の終焉を探ります。

「蒙古襲来絵詞 模本」九州大学附属図書館所蔵

「鷹島海底遺跡出土品（モンゴル軍が放った炸裂弾“てつほう”など）」松浦市教育委員会所蔵



関連イベント

記念講演会①

「佐田文書の世界とその伝来」井上聡氏（東京大学史料編纂所准教授）

日時：9月25日（土）13：00～14：30 会場：新中津市学校集会室 定員：50名

記念講演会②

「泉涌寺俊祐将来の南宋僧院生活文化—羅漢図像をふまえて」西谷功氏（泉涌寺心照殿学芸員）

日時：10月30日（土）13：00～14：30 会場：新中津市学校集会室 定員：50名

ギャラリートーク

①9月19日（日）13：00～ ②10月2日（土）10：00～ ③10月24日（日）13：00～

④11月3日（水・祝）13：00～ 会場：中津市歴史博物館 定員：各10名

ワークショップ「自分の花押をつくってみよう」

①10月2日（土）13：00～14：00 ②11月3日（水・祝）11：00～12：00

会場：中津市歴史博物館 定員：各10名

古文書解読講座

①9月28日（火）17：00～18：30 ②10月26日（火）17：00～18：30

会場：中津市歴史博物館 定員：各20名

※関連イベントは各300円（観覧料含む）要予約。

連携企画・大分の秋は「ものの心」！

大分県立埋蔵文化財センター企画展「大分のものの心」

10月23日（土）～12月12日（日） 会場：大分県立埋蔵文化財センター

※鎌倉時代の大分について考古資料を中心に展示紹介します。二館セットで見ることで、より楽しめます。相互連携してイベント・広報を行います。